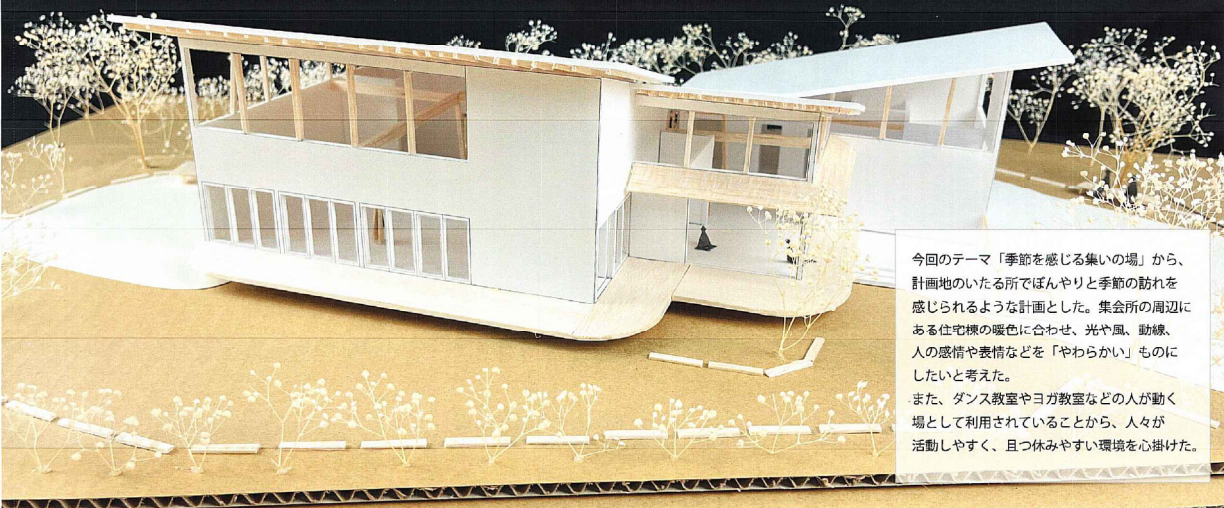


# ぼんやりや

2-274



今回のテーマ「季節を感じる集いの場」から、計画地のいたる所でぼんやりと季節の訪れを感じられるような計画とした。集会所の周辺にある住宅棟の暖色に合わせ、光や風、動線、人の感情や表情などを「やわらかい」ものにしたと考えた。  
また、ダンス教室やヨガ教室などの人が動く場として利用されていることから、人々が活動しやすく、且つ休みやすい環境を心掛けた。

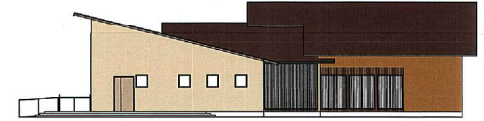


A-A' 断面図 (S=1/200)

主な仕様	屋根	カラーガルバリウム鋼板 片平葺
外部		杉板 t12 縦張り 耐水性塗料
内部		石膏ボード t12 フローリング t15
床		床用自然塗料
工事費		およそ 7000 万円
延べ面積		247.74 コミュニティ部分+和室部分+玄関部分 124.22㎡ 66.25㎡ 57.28㎡

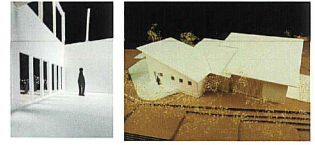


北立面図 (S=1/200)



西立面図 (S=1/200)

## 光をやわらかく



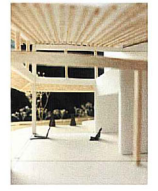
西日がよく当たるため、西側の開口部には水平ルーバーを取り付ける。強い光を遮るのではなく、やわらかなことでより多くの「やわらかい」光を取り込む。

## 風をやわらかく

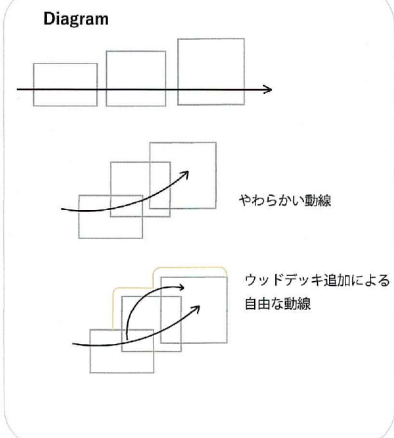


押き出し窓を集居室、給湯室、和室に設ける。西側にも設け、風の通り道を作る。

## 人の表情をやわらかく

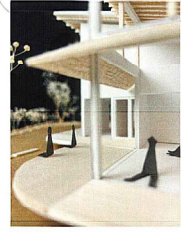


人はどんな時に「やわらかい」表情をするのか。それを季節と結びつけて考えた。  
春に花が咲くとき。  
夏に涼しい風を浴びたとき。  
秋の実りを食しているとき。  
冬にぬくもりを感じたとき。  
など様々なだろう。



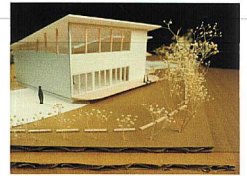
## 夏エリア

夏の訪れを主張するかのように高くなる気温。そんな中で運動すれば冷たい飲み物がほしくなる。ダンス教室の休憩がたウッドデッキに座って冷たい飲み物でも飲みながら外を見ると青々とした葉っぱが風に揺れている。このエリアには夏に花を咲かすハギ、サンゴジュ、そして春と夏の間の微妙な期間に咲くアジサイが植わっている。  
開花時期▼  
アジサイ…5月～7月 ハギ…6月 サンゴジュ…7月～9月  
順番に花を咲かす植物を見て夏の始まりから終わりまでを見届けることができる。西側に西日に強いヤマボウシを植える。6～7月に白い花を咲かせる。



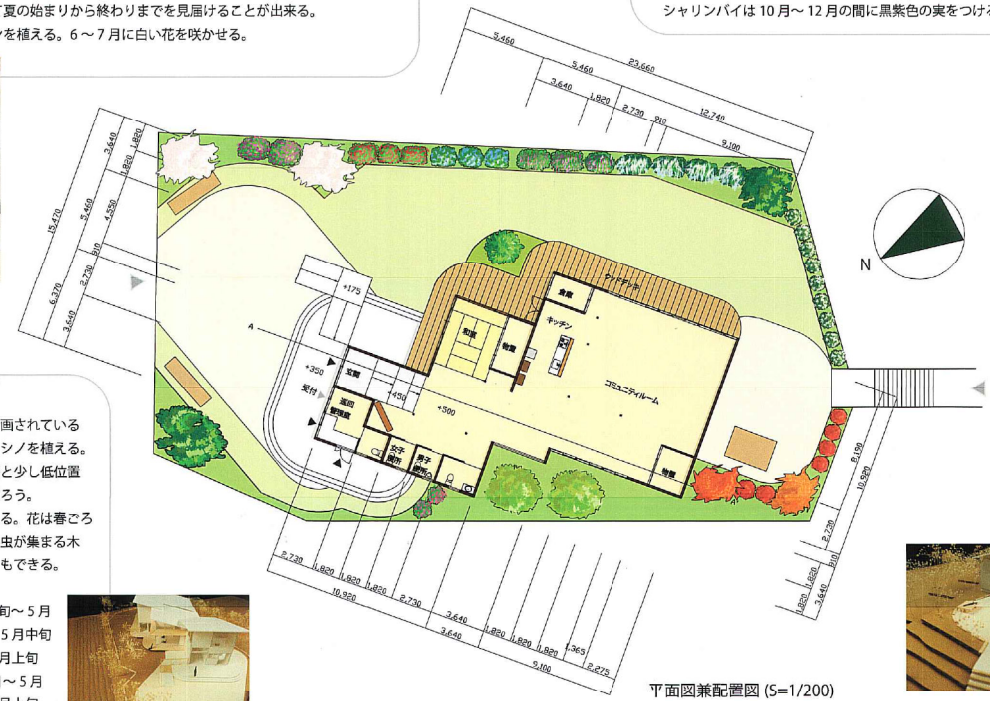
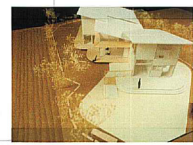
## 冬エリア

この地域でははっきりと冬を感じられる要素が少ない。冬にはあまり外に出たくないと思う人も多いだろう。寒い中でも季節を温かい場所と感じられるように外の様子がよく見える位置に冬のエリアを置いた。葉が散ることはなく、春近づけば残雪を思わせるようなユキヤナギの花が咲く。シャリンバイはそのあとに続くように紫の花を見せる。冬の間はヤブツバキがつなぎ目となってくれるだろう。  
開花時期▼  
ヤブツバキ…12月～3月 ユキヤナギ…3月～5月 シャリンバイ…4月～6月  
シャリンバイは10月～12月の間に黒紫色の実をつける。



## 春エリア

この集会所の東の遊歩道に計画されている桜の列と同じ向きにソメイヨシノを植える。入口前の広場で、目の前の桜と少し低位置にある桜の景色を楽しめるだろう。西側にはどんぐりの木を植える。花は春ごろに咲き、秋に実をつける。昆虫が集まる木でもあるため、夏には虫捕りもできる。  
開花時期▼  
オオムラサキツツジ…4月中旬～5月  
キリシマツツジ…4月下旬～5月中旬  
サツキツツジ…5月下旬～6月上旬  
ウバメガシ(どんぐり)…4月～5月  
ソメイヨシノ…3月下旬～4月上旬



平面図兼配置図 (S=1/200)

## 秋エリア

秋といえば紅葉を思い浮かべるだろう。少し冷えが出てきたこの時期に外に出て紅葉を楽しむ場所を設けた。大きめのベンチで小さな秋を満喫してほしい。  
ドウダンツツジは開花時期は春あたりになるが秋になれば葉を紅く染める為、イロハモミジとともに秋色を演出してくれる。

